

受入先	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 6 年 1 0 月（着任 1 年 4 カ月目）
主な活動	1 指宿枕崎線の将来のあり方に関する検討会議出席 2 景観整備に係る打ち合わせ

1. 指宿枕崎線の将来のあり方に関する検討会議出席

指宿枕崎線の指宿～枕崎駅間を含めたローカル鉄道のあり方について、商工等関係者とのワークショップに出席しました。

沿線地域の価値・鉄道の魅力について、地域経済効果の考え方等について、関係する方々と意見交換を行いました。

現状と将来のあり方に向けた対応について話し合うとともに、呉工業高等専門学校の神田佑亮教授の講演もあり、鉄道の問題のみならず、人口減少により生じる問題からのアプローチからも考えることができ、普段の利用となる生活需要だけでは限界があるので、「鉄道」という資産を活かして地域が稼ぎだすために、地域の価値をみんなで発掘する取り組みです。

鉄道があることで、それ自体に乗りたくなる効果と、そこから地域を訪問し、消費を増やしていく効果の二つがあることを参加者と共有できたことは大きいと感じました。

地域の価値は何だろう？と意見交換したところ、多くの価値があることが分かり、改めて見ると潜在能力の高さがあることを認識しました。

地域で精力的に活躍している方々の紹介もあり、連携して活動を行っていけば地域全体が盛り上がる、路線の価値を上げていけることを改めて感じることができる会議となりました。



2. 景観整備に係る打ち合わせ

南九州市内には、風景と列車が織りなすことで相乗効果が生まれる有名な撮影スポットがいくつかあります。第二回あなたが選ぶかごしま景観大賞に選ばれた松ヶ浦駅、穎娃～西穎娃駅間の集川周辺に広がるコスモス畑が主に知られている撮影地として挙げられ、有名な鉄道写真家も撮影に来るほどのスポットとなっています。

鉄道撮影を目的として訪れる方だけでなく、風景全体を見に来るために訪れる方も多いことから、地域が持つ景観を全体で捉え、それ自体が観光資源となることや、列車を利用する際にも重要な要素となることから、列車を利用する方と撮影に訪れる方が増える効果がある、地域を活性化できるものと考えています。

景観を整備していただいている方々と協働して、新しい価値を作ることができないか、また、撮影に来ていただいた方々がまた来たいと感じていただけるには地域としてどのように取り組みれば良いかを打ち合わせました。

松ヶ浦駅周辺では、地域の方々が定期的に除草作業を行っており、また、JR九州様や草刈りツーリズム様などの団体と協力して、列車運休時に合わせて線路内やその周辺の除草作業を行っております。訪れる方が多くなる反面、撮影マナーの問題やごみの投棄などの問題が発生するため、撮影者に対するマナー向上喚起も大切なものになりつつあります。さらに地域の方々と協力したいとの思いから、関係者との打ち合わせを行い、意見交換しました。

穎娃～西穎娃駅間の集川周辺のコスモス畑の景観整備に取り組んでおられる方々とも話し合いを行いたい、との思いから、打ち合わせを行いました。耕作地を持つおられる方々が協力して種まきを行い、秋の時期には多くの見物客が訪れるスポットになったこと、現在は駐車場整備なども行われておりますが、私自身が鉄道撮影者ということもあり、マナー向上などに関して取り組みたい、との思いがあるためです。

早く打ち合わせに応じていただき、相互に意見交換を行いました。

